

私たちがキリストの奥義を語れるように、祈ってください。

イザヤ51:1

2014(26)年 週 報

4月27日

第4聖日

3349号

「エマオの途上」

(イースター連続講演第5回)

聖言

そこでふたりは話し合った。「道々お話になっている間も、聖書を説明して下さった間も、私たちの心はうちに燃えていたではないか。」 **ルカ24:32**

礼拝の恵みⅣ

二つあると露のとう二つ三つ(山頭火)

一〇年後、一〇人の内四人が六五歳以上となります。徘徊老人による列車事故も家族責任にされようとしています。まずまず、信仰の重要性を痛感させられます。なぜなら聖書には若者以上に高齢者が活躍しているからです。アブラハムは百歳でイサクを生みました。モーセは八十歳に神様から民をエジプトから救うようにと言われました。ハンは八四歳になって祈りと断食で主に仕えました。シメオンは主のキリストをみるまでは死なないと言って主キリストを待ち望んでいました。礼拝は天の門に至るまで休んではなりません。天地創造は一章半ですが、礼拝については出エジプト二五〜四〇章までぎっしり、綿密に記されています。その重要さがわかります。最後まで残るのは礼拝だけです。たとえ仕事ができなくなっても、教会に来て神を礼拝をいたしましょう。礼拝は教会の第一の使命です。奉仕よささげものがなくてもまず神に礼拝をささげるのです。第二は礼拝は記念と感恩と畏敬と驚嘆をもってなされるのです。第三は礼拝は神の一番お喜びになられることなのです。天の御門に昇る日まで教会で兄弟姉妹たちと来る日も来る日も礼拝をささげ続けましょう。

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一四年四月二三日午前二〇時 礼拝 山本牧師

「復活の主」

（イースター連続講演第三回）

「あなたがたは、なぜ生きている方を死人の中で捜すのですか。」（ルカ二四ノ五）

聖書の中で最も重要なのは十字架と復活である。これは表裏一体である。なぜなら人間の罪は十字架により償うことができ、復活により完全に罪からの勝利を与えられた。十字架は信じても復活を信じる人は少ない。なぜなら、人類で死んで甦った人はいないからである。唯一イエス・キリストだけが復活された。からだに巻かれていた布と頭に巻かれていた布が別々のところに置かれていたとある。死体を盗むのにそんなことをしない。墓の周りを屈強なローマ兵が死体を盗まれぬよう、寝ずの番をしているのに、イエス様が捕まえられる時逃げた弟子が死体を盗む勇気があっただろうか。また、鞭打たれ、十字架を担がされ、腹を槍でさすと血と水が出て完全に死んだイエスが蘇生の可能性があるか。イエス様が復活されて布を外されたなら可能である。最愛の我子を死ぬのを知っていながら修学旅行に送る親はいない。神様は全知であり御子が十字架にかけられる事を知りながらもこの世におおくりくださいました。普通の親ならそんなことはできないが、罪人は救う唯一の方法でした。御父は聖書に御子を犠牲にすることを記し、神の愛を悟り、罪から離れるように忠告しました。しかし、人間は御言葉を信じようとせず、ますます、神から離れ、御子を十字架につけたのです。そのとき、神が御子を十字架につける苦しみが始めて分かったのです。そればかりか、復活により人間を罪と死より打ち勝たせ永遠の生命を与えてくださる神の愛が分かったのです。今も韓国で悲しい転覆事故で多くの若者が行方不明となり、ウクラ

イナでも多くの人々が犠牲となっています。日本でも集団自衛権により多くの若者の生命が失われることでしよう。日本のみでなく、中国、韓国、北朝鮮、ロシア、アメリカ、全世界の若者の生命が正当防衛という美名のもとに失われるのです。疑い、野心、憎しみと言う罪のためです。全知全能の神はすべてご存知でした。あえて罪を止めるのでなく、人間の自由意志を尊重し、ご自身よりも大切な御子を十字架につけられ、罪の解決をされ甦らされ、罪人に復活の希望を与えて下さいました。信じる者は救われます。信じないものは罪に定められ永遠の滅びが定まっているのです。イエスは証拠を示してくださいます。後はわたしたちが判断するだけです。

二〇一四年 四月二三日午後七時 祈禱会 山本牧師

「トマスに顕れる復活のイエス」（イースター連続講演第四回）

女学生はお母さんが父兄会で学校に来てもらうのを嫌がります。理由はお母さんには顔に大きなあざがあるのです。お友達のお母さんは美しいのに自分のお母さんが醜い顔なので恥ずかしくてしかたがありません。トマスだけが復活のイエス様を見ることができませんでした。弟子達は復活のイエス様を見たことに興奮していました。トマスだけは浮かぬ顔で聞いていました。彼はイエス様を好きでしたが、自分だけ見ていないのが不満でした。死んで三日もたったラザロをイエス様が訪問しようとしたとき、「私たちもイエスといっしょに死のうではないか。」（ヨハネ一一ノ一六）とイエス様とやら死んでもかまわないうと言っただけ強い信仰を持っていました。だけど、復活のイエス様を見ていないので寂しくしかたがありませんでした。何故、私にだけに顕れてくれないのですか。他の弟子よりも私の方があなたを愛しています。と不満でたまりませんでした。証

抛を持たねば信じない。奇跡や声だけではだめ。弟子は熱にうなされて幻覚、幻聴、他の人が見たというのでしかたなしに賛成しているだけのことだ。私はだまされたい。宗教でだまされて不幸になった人はいくらでもいる。彼は弟子たちの言葉を受け入れませんでした。しかし八日目の夕方弟子達と礼拝をささげていました。その時主は甦られ聖書を開いてくださいました。「この山の上で、万民の上をおおっている顔とおいと、万国の上にかぶさっているおおいを取り除き、永久に死を滅ばされる。神である主は全ての顔から涙をぬぐい、ご自分の民へのそしとを全地から除かれる。主が語られたのだ。その日、人は言う。「見よ。この方こそ。私たちが救いを待ち望んだ私たちの神。この方こそ、私たちが待ち望んだ主。その御救いを楽しみ喜ぼう。」(イザヤ二五ノ七〜九)「死は勝利に吞まれた。」(コリント一 一五)キリストは終わりの時よみがえり、全世界を支配されるのです。わが神。わが主。とトマスは他の弟子よりも主の本質を見抜きました。イエス様を今は見ることはできません。イエス様を見なくても、聖書の証言を信じ、聖徒の証しを信じ、聖霊によって十字架による罪の救いを信じるものに、御褒美として復活してください。主の十字架を一恥ずかしがらず、誇りとするものに復活の主が現れてくださいます。

韓国釜山市イサク教会青年部来日

日時 五月三日(土) 午後一時より

メンバー ペ副牧師引率一七名男七名、女一〇名)

プログラム 三日(土) 午後トラクト配布

四日(日) 午前二〇時 合同礼拝

午後〇時 韓国料理とワッシュダンス

夕方 大阪へ移動

牧場

松原洋兄 白浜の病院から神戸の病院へ転院されました。
 教会の皆様によりしくと電話がありました。

ペンテコステ(聖霊降臨)聖会

日時 五月五日(月)
 「聖潔の喜び」 午前一〇時 聖会 山本牧師
 「御霊の聖潔」 午後二時 聖会 足達牧師
 「教会建設と聖潔」 午後七時 聖会 西田牧師

本部五月行事計画

- 二日(金) 楽しい月一回の祈り 午後一時
 - 四日(日) 韓国釜山イサク教会青年集会 礼拝後
 - 五日(月) ペンテコステ聖会 午前一〇時、午後二、七時
 - 一日(日) 役員会
 - 一二日(月) 納骨堂掃除 午前一〇時
 - 一八日(日) 前半期、合同召天記念献金約束日、
 - 一九日(火) 愛の園総会 午前一〇時
 - 二二日(木) 榎原家庭集会 午後二時
 - 二六日(月) 説教塾 午前一時 神港教会
 - 二七日(火) リバイバル牧師会 午後一時 東部教会
 - 三一日(土) 納骨堂掃除 午前一〇時
- ※ 会計役員 尾瀬姉 小段姉 大内姉